

## スイミング効果を考える！

### 東大生の約6割がスイミング通いを経験

「子供には様々な経験をさせてあげたい」と習い事に通わせたい。たくさんのお子さんがいますが、最も子供達が通う習い事と言え、間違いなく「スイミング」がどの調査でも第1位。言わば「スイミング」は子供達の生活の一部とも表現できます。ある調査では「東大合格者の59%がスイミングへ通った経験がある」とデータを発表しています。「スイミングへ通えば東大へ入れる！」とは言いませんが、心とからだに大きな変化をもたらすことは実証済みです。

世の中を見渡して見ると、お父さん、お母さんが過ごした幼少期と比較して「習い事」の種類が多くなっていると思いませんか？ サッカー、野球、ミニバスケットボール。子供達向けのテニ

スも盛んです。バレエ、キッズダンス、空手、剣道、柔道、ピアノ、エレクトーン、英会話、公文式……。数え上げればキリがありません。そうした習い事の中で、子供達が一番多く通うのは「スイミング」です。

なぜ習い事に通わせるのでしょうか？ おそらく「子供に何か得意なものを身につけさせたい」という親の願望があるのではないでしょうか。ところが、子供達に習い事をさせる必要性が実はあるのです。子供の成長には「発達の適時性」と言われ、ある時期に伸ばさなければならぬものがあります。「スキヤモンの発達曲線」という言葉

統は生まれて5才頃までに80%の発達を遂げ、12才でほぼ100%になります。これは「5才から8才頃は、脳をはじめとして様々な神経回路が張り巡らされていく大切な時期」ということですから、多種多様な動きを経験させる必要があると言

「スイミング」と言うと、プールの中で何をやるかばかりに関心を持たれますが、例えばスクールバスを利用すると、時間間に合うように待つという習慣が育まれます。スクールバスの中では、要領よく自分の席を見つけて、狭い通路を通過して席まで行きます。ステップの昇り降りも安全を確保しながら通過しま

ちなみに「隣の子どもはどうやって東大に行ったのか」で発表されていた「習い事のランキング」は、2位がピアノ、エレクトーン、鍵盤系で57.1%、3位が公文式で25.0%でした。あくまで東大合格者によるランキングですから、各種「習い事調査」とは違いますが、スイミングがその「東大合格」へ貢献したことがうかがわれます。



なぞ習い事に通わせるのでしょうか？ おそらく「子供に何か得意なものを身につけさせたい」という親の願望があるのではないでしょうか。ところが、子供達に習い事をさせる必要性が実はあるのです。子供の成長には「発達の適時性」と言われ、ある時期に伸ばさなければならぬものがあります。「スキヤモンの発達曲線」という言葉

統は生まれて5才頃までに80%の発達を遂げ、12才でほぼ100%になります。これは「5才から8才頃は、脳をはじめとして様々な神経回路が張り巡らされていく大切な時期」ということですから、多種多様な動きを経験させる必要があると言

「スイミング」と言うと、プールの中で何をやるかばかりに関心を持たれますが、例えばスクールバスを利用すると、時間間に合うように待つという習慣が育まれます。スクールバスの中では、要領よく自分の席を見つけて、狭い通路を通過して席まで行きます。ステップの昇り降りも安全を確保しながら通過しま

「社会性」「協調性」などを育んでいるのです。その結果として、努力することの大切さや、目標をクリアしたときの達成感も経験します。少子化の影響で日常生活では余り体験できない年上・年下の「異年齢の子供達と一緒に、人間関係の育み方」も知らず知らず身につけていきます。

ただでなく、泳ぐことを通じてそれぞれの年齢にあわせた「人間力」を育んでいるのが「スイミングスクール」です。子供達が様々なことを身につけられる「スイミングスクール」で、心とからだの成長を育む機会を作ってください。それがスイミングの願いであり、「水泳を通じた人間教育」を標榜するスイミングの使用命だと思っております。

